

安倍元首相死去

演説中 撃たれる 67歳

8日午前11時半ごろ、奈良市の近

鉄大和西大寺駅前で参院選の街頭演説をしていた自民党の安倍晋三元首相(67)が銃撃された。安倍氏は血を流して倒れ、救急搬送されたが死亡が確認された。奈良県警は殺人未遂の疑いで、現場で取り押さえられた元海上自衛隊員の職業不詳山上徹也容疑者(41)と奈良市大宮町3とを現



奈良市の近鉄大和西大寺駅前街頭演説する自民党の安倍晋三元首相。この直後に銃撃された

8日午前11時半ごろ

行犯逮捕した。銃も押収した。

1932年に海軍の青年将校らが犬養毅首相を殺害した五・一五事件など大物政治家に対する暗殺は戦前には相次いだが、戦後では首相経験者が殺害された例はない。岸田文雄首相は「民主主義の根幹である選挙が行われている中で起きた卑劣な蛮行であり、決して許すことはできない」と厳しく非難。戦後日本史に影響を落とす重大事件となった。

安倍氏は母方の祖父が岸信介元首相、父方の祖父が安倍寛元衆院議員、父は安倍晋太郎元外相という政治家一家に育ち、93年衆院選で故晋太郎氏の後を継いで初当選した。2006年9月に当選5回、52歳の若さで第90代首相に就任。戦後最年少、初の戦後生まれの宰相となった。

